



主な内容

- 特集 ..... 1~2  
SDGs~身近な取り組みから始めよう~
- トピックス ..... 3~4  
●北九州風カウィーク×SDGs  
●北九州市の「新型コロナワクチン接種」情報 など
- まちがいファイブ ..... 5  
情報ステーション ..... 6~11  
\*最終ページは人口データと若松区の情報

特集 SDGs  
~身近な取り組みから始めよう~

最近、SDGs(エスディージーズ)という言葉をよく聞きますか？SDGsとは、2030年までに貧困や不平等などの課題を解決し、現在も、そして子どもや孫たちの世代も、豊かで幸せに暮らしていくための「世界共通の17の目標」のことです。

難しく聞こえますが、例えば、「電気を小まめに消す」といった身近な行動も、目標達成のためのちゃんとした取り組みの一つです。

今回は、暮らしの中の「その行動がSDGs!」を紹介しています。今日から、SDGsを“自分ごと”として始めてみませんか。

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です		

日常生活の何気ない行動も、実はSDGsの取り組みにつながっています

**食べものを無駄にしない**

買い過ぎない。また、食べきれない食材は新鮮うちに冷凍するなど、無駄のないようにしましょう。

その行動が SDGs!

**地元の新鮮な食材を購入する**

地元の農水産物や加工品を購入しよう。地域の活性化や資源の保護につながります。

その行動が SDGs!

**日頃からまちの安全を考える**

防災バッグを用意したり、ハザードマップを見て避難経路を確認したりするなど、もしものために備えよう。災害に強いまちづくりには、自らを守る行動も必要不可欠です。

その行動が SDGs!

SDGsは、「少しの工夫で世界を住みやすくしていく」という、とても身近な取り組みです。いつも車で移動するところを歩いてみる、地域の清掃活動に参加してみる、他の国の教育の現状を調べてみるなど、日常生活で少しでも意識して行動することが、よりSDGsのゴールに近づく一歩になります。

次のページでは、さらに具体的な取り組みを行っている団体などを紹介します。

〈市長からのメッセージ〉

市民、企業、大学、行政が一体となって公害を克服する過程で培われた「市民力」や「ものづくりの技術」は、市のまちづくりに活かされるとともに、その後の地域活動やアジア諸国への環境国際協力につながっていきました。こうした取り組みは、SDGsの考えを先取りしたものとして国内外で高い評価を受けています。

社会課題が複雑化する今、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念達成は、市にとって大きなチャンスにもなると考えます。

北九州市は、SDGsを原動力に地方創生や地域活性化を図り、「市民生活の質の向上」や「都市ブランド力の向上」につなげることで、「日本一住みよいまち」の実現を目指していきたくと考えています。

北九州市長 北橋 健治

